

# 带状疱疹予防接種説明書

## ○带状疱疹とは

带状疱疹は、水ぼうそうと同じウイルスで起こる皮膚の病気です。主な症状は、体の左右どちらかの神経に沿って、痛みを伴う赤い発疹と水ぶくれが多数集まって帯状に生じるものです。症状の多くは上半身に現れ、顔面、特に目の周りにも現れることがあります。

痛みを伴う発疹は、まもなく小さな水ぶくれに変化すると次第に数を増し、一部には膿がたまります。その後かさぶたとなって皮膚症状は治癒し、同時に痛みも治まります。皮膚症状が治癒した後も、神経の損傷がひどいと痛みが残ることがあり、これは带状疱疹後神経痛（PHN）と呼ばれる合併症で、带状疱疹の後に一定の頻度で発症するという報告があります。

带状疱疹は、多くの方が子どものときに感染する水ぼうそうのウイルスが原因で起こります。この水ぼうそうが治った後も、日本人の50歳以上ほぼ全ての方にウイルスが体内に潜伏しているとされており、過労やストレスなどで免疫機能が低下すると、ウイルスが再び活性化して、带状疱疹を発症する可能性があります。

## ○带状疱疹ワクチン

ワクチンを接種することで、発症を抑制し、重症化や後遺症の予防につながるとされており、带状疱疹ワクチンには、生ワクチン（乾燥弱毒性水痘ワクチン）と、不活化ワクチン（乾燥組換え带状疱疹ワクチン）の2種類があります。

## ○接種費用助成対象者

野木町に住民登録のある満50歳以上の方

（助成を受けられるのは一人につき一度の機会のみ（生ワクチン1回または不活化ワクチン2回まで）となります。）

## ○接種回数・助成金額

どちらかのワクチン接種を助成します。

ワクチン	接種回数	助成金額
生ワクチン （乾燥弱毒生水痘ワクチン）	1回	4,000円
不活化ワクチン （乾燥組換え带状疱疹ワクチン）	2回	10,000円／回

## ○副反応

- ① 接種部位の痛み、発赤、腫れ、筋肉痛、疲労感、頭痛がみられることがありますが、通常2～3日のうちに治ります。また、重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーが起こる可能性があります。

- ② 帯状疱疹予防接種によって引き起こされた副反応により、生活に支障がでるような健康被害が生じた場合、医薬品副作用被害救済制度に基づく救済の対象となる場合があります。詳しくは独立行政法人医薬品医療機器総合機構までお問い合わせ下さい。

## ○予防接種を受けることができない人

- ① 明らかに発熱のある人（37.5 度以上）
- ② 重症な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- ③ 過去に帯状疱疹ワクチンに含まれる成分で、アナフィラキシーを起こしたことがある人  
※アナフィラキシーとは、接種後30分以内に顔が腫れる、全身にじんましんが出るなどのひどいアレルギー反応のことです。
- ④ その他、医師が不適当な状態と判断した場合

## ○予防接種を受けるに際し、医師と相談しなくてはならない人

- ① 心臓血管系・腎臓・肝臓・血液などの基礎疾患のある方
- ② 予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた方、全身性発疹などのアレルギーを疑う症状がみられた方
- ③ このワクチンの成分に対して、アレルギーを起こすおそれのある方
- ④ 過去にけいれんを起こしたことがある方
- ⑤ 過去に免疫不全と診断された方、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ⑥ 血小板が少ない方や出血しやすい方
- ⑦ 妊婦又は妊娠している可能性のある方、授乳中の方
- ⑧ 最近1ヵ月以内に予防接種を受けた方

## ○予防接種を受けた後の一般的注意事項

- ① 予防接種後30分間は、急な副反応が起こることがあります。医師とすぐに連絡を取れるようにしておきましょう。
- ② 副反応の多くは24時間以内に出現しますので、特にこの間に注意しましょう。
- ③ 入浴は差し支えありませんが、接種した部位を強くこすることはやめましょう。
- ④ 接種当日はいつもどおりの生活をしてかまいませんが、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。

お問合せ先  
健康福祉課健康増進係  
TEL：57-4171